



TOTO

ウォシュレット® 施工説明書

washlet®

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工業者様へ

●ウォシュレット本体とリモコンは「組み合わせ設定」されています。同梱以外のものを取り付けしないでください。

例)バーコードNo.12345678の場合

ウォシュレット本体とリモコンのバーコードNo.(8桁)で、組み合わせを確認してください。

ウォシュレット本体

ウォシュレットリモコン付の場合 ウォシュレットリモコンなしの場合

いずれの製品も取付方法は同じです。
この施工説明書は、ウォシュレットリモコン付(便ふた付)で説明しています。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 禁止してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない
(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない
(火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない
(火災や感電の原因になります。)
- 飲用可能な水以外は使わない
(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない
(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない
(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない
(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)
(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをします原因になります。)

強制

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)
- アース(D種接地)を確実に取り付ける
(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
- 必ず接地コンセントに差し込む
(変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない
(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをします原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない
(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実にを行う
(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める
(確実に締めないと水漏れの原因になります。)
- ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む
(「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。)(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをします原因になります。)
- 電池の+-表示をよく確かめている
(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく
(電池の液漏れの原因になります。)

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

リモコン部品 ※リモコンはいずれかが同梱されています。(ウォシュレットリモコン付のみ)

ハンガー(単3形×2本) リモコン(乾電池式)

ハンガー リモコン(発電式)

リモコン(乾電池式) 乾電池(単3形×2本)

ねじ①(4本) ねじ①(3本)

ねじ②(4本) アンカープラグ(3本)

アンカープラグ(4本) ねじ②(2本)

ねじ②(1本)

固定部品(1個)

分岐金具

ベースプレート一式 ※分解しないでください。

ボルト

固定板

フック

ゴムブッシュ

パッキン2枚

(施工タイプにより1枚しか使用しない場合があります。)

印刷物

埋込AC100Vリモコン部品 (埋込AC100Vリモコン付のみ)

(施工説明書付)

別包装部品

ウォシュレット専用便器洗浄ユニット

(リモコン便器洗浄付のみ)

取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため、故障の原因となります。
3. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
4. 交流100V(50/60Hz)の埋込アースターミナル付コンセント(3Pプラグの場合は、接地コンセント)を使用してください。
(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。)
5. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
6. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
7. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
8. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
9. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
10. リモコン便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99
※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

他社製便器に取り付ける場合

便座取付穴	品番
深さ(mm) 径	
36以下 φ19~21	TCA312
36~80	—
70~110 (測定不要)	TCA310

給水ホースの長さが不足している場合

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホース長さ(mm)	品番
1180	TCA480
1480	TCA481
1980	TCA482

右給水の隅付タンクへ接続する場合

給水ホースの長さが足りません。別売品の中継金具(品番:TCA58R)をご購入ください。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具(品番:TCA158)をご購入ください。

給水コンセントへ接続する場合

別売品のアダプタ(品番:TH778S)をご購入ください。

取り付け前のご注意

分岐金具

●仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

施方法イメージ	「フラッシュバルブ」から分岐する場合			「ロータンク」から分岐する場合	「専用止水栓」※3を設ける場合
	止水栓側面にウォシュレット用取付口のあるタイプ	止水栓側面にウォシュレット用取付口のないタイプ			
TH343R	TH347-1N ①普通形 ②節水形		TH484		TH484 V3
必要部品	TH343R	①普通形 TH502-1N ②節水形 TH347-1N	普通形・節水形 TH484※1※2	同梱の分岐金具のみ施工できます。	TH484 V3

※1 ウォシュレット取付口付フラッシュバルブ「A」寸法が120mm以外のフラッシュバルブ、製造年月日が2001年1月以降のフラッシュバルブには取り付けられません。また、TV5型には取り付けられません。

※2 接続管の取り外し、取り付けには締付工具TZ115-3Sをご使用ください。

※3 再生水や飲用不可な井戸水の場合は、専用止水栓を設けて上水を給水してください。パウチ・しびん洗浄水栓付背もたれとのセットの場合、フィルター付き止水栓(別売品) TL347CUが必要です。

取付方法

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

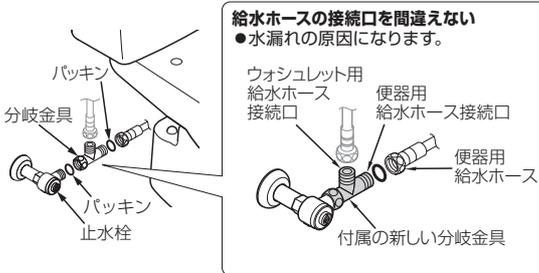
1 止水栓を閉める

フラッシュバルブの場合

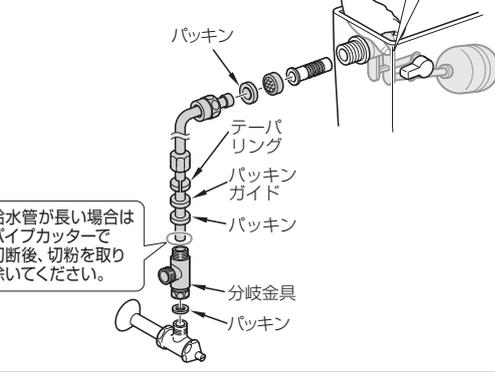


2 分岐金具の接続

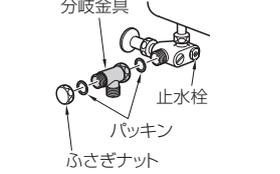
「ロータンク」から分岐する場合



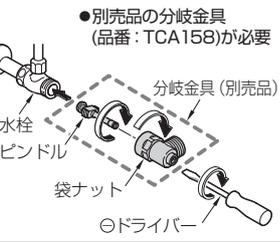
タンク側面から給水管(またはホース)が出ているタイプの場合



ワンピース便器へ接続する場合

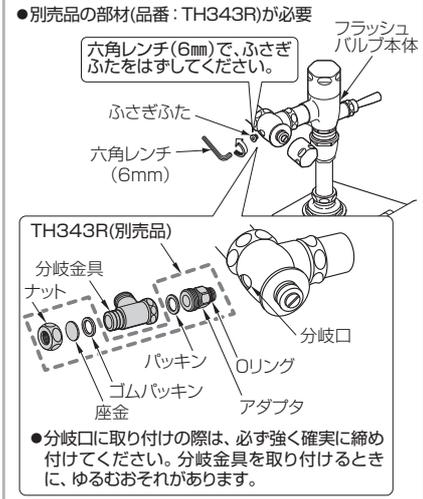


止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

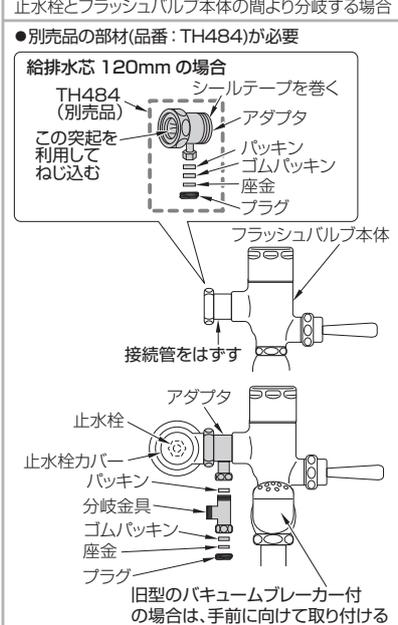


「フラッシュバルブ」から分岐する場合

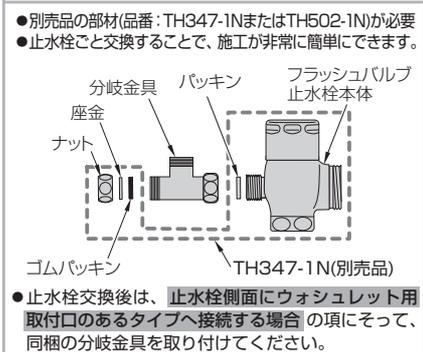
止水栓側面にウォシュレット用取付口のあるタイプへ接続する場合



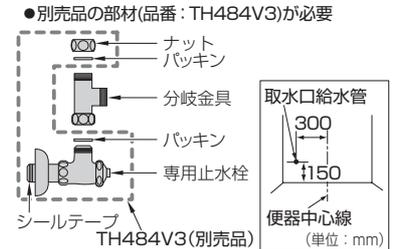
止水栓側面にウォシュレット用取付口のないタイプへ接続する場合



止水栓側面にウォシュレット用取付口のないタイプへ接続する場合



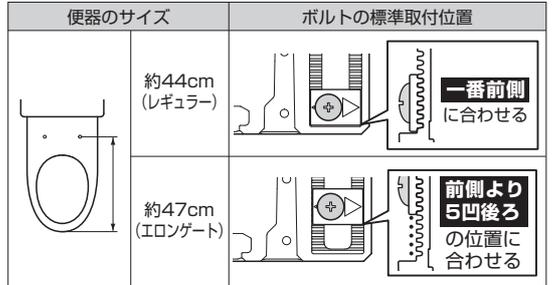
「専用止水栓」を設ける場合



3 ウォシュレット本体の取り付け

●ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。

1 ベースプレートのボルト取付位置を調整する



2 便器にベースプレートを仮固定する

●ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。

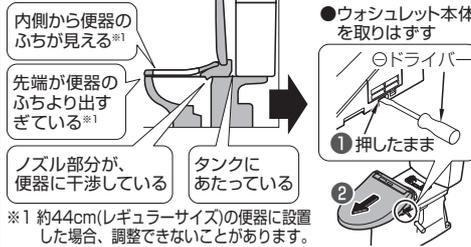


取付方法

③ ウォシュレット本体の取り付け (つづき)

③ ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行う

- 次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。
- ➡ ① ベースプレートのボルト取付位置を調整するへ

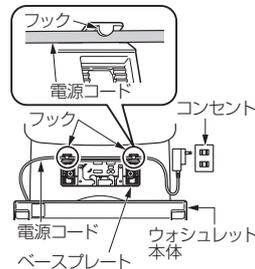


※1 約44cm(レギュラーサイズ)の便器に設置した場合、調整できないことがあります。

④ 回らなくなるまで、ボルトをしっかりと締め付ける

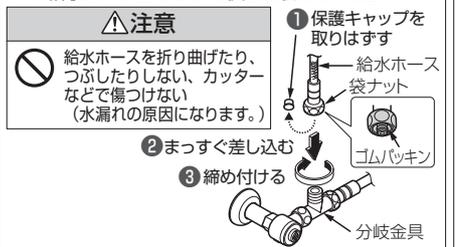


⑤ ベースプレートのフック(2カ所)に電源コードをかける(コンセント位置が右側にある場合のみ)



※コンセント位置が左側にある場合は、ベースプレートのフック(2カ所)は使用しません。

⑦ 給水ホースの袋ナットを分岐金具に締め付ける
※給水ホースはタンクの後ろに取付けてください。



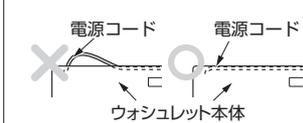
注意

- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)

⑥ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

フックにかけた電源コードがたるまないように整えてください。



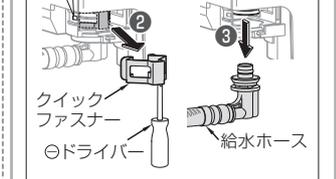
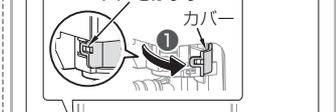
取り付け状態ではウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。

(表紙 給水ホースの長さが不足している場合 参照)

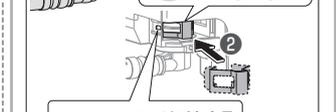
長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



① 給水ホースを取りはずす



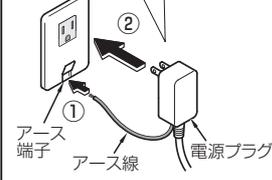
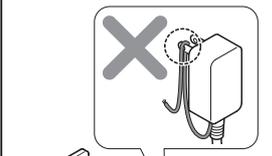
② 給水ホースを取り付ける



③ ツメにはめる



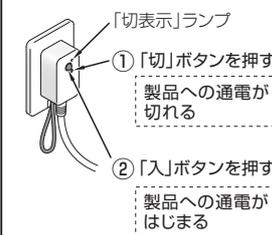
電源プラグ(アース線)の接続と確認



3Pプラグの場合



- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する
- 電源プラグの作動確認をする



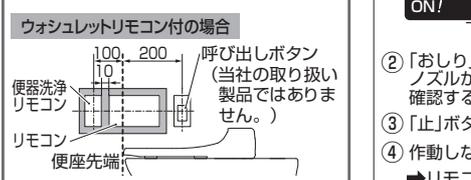
「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

リモコンの取り付け

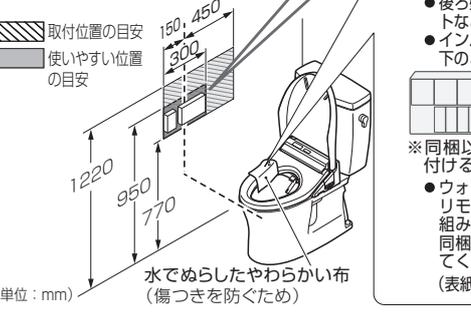
① 乾電池式の場合
ウォシュレットリモコンに乾電池を入れる

② 取付位置を決める

便器洗浄リモコン付の場合
便器洗浄リモコンの取り付けかたは、「便器洗浄リモコン取付説明書」をご確認ください。
【公共トイレ操作系JIS(JIS S 0026)に対応する場合の取付位置】

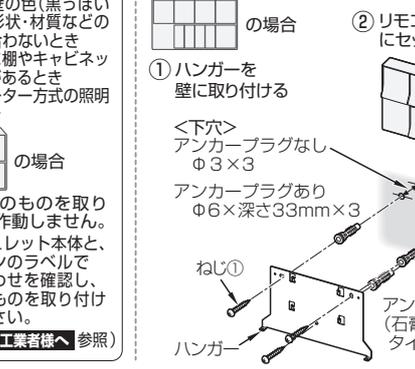
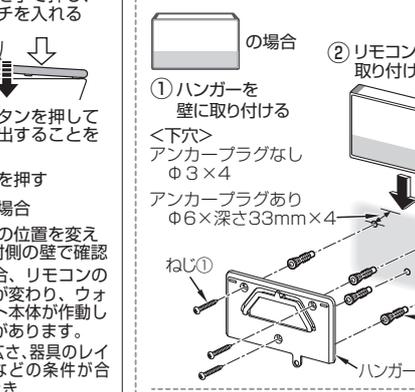


ウォシュレットリモコンなしの場合
便器洗浄リモコン
便座先端
呼び出しボタン (当社の取り扱い製品ではありません。)



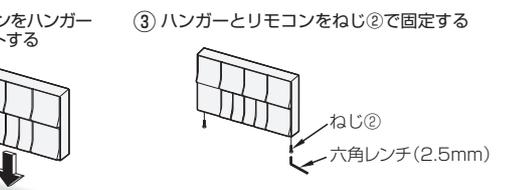
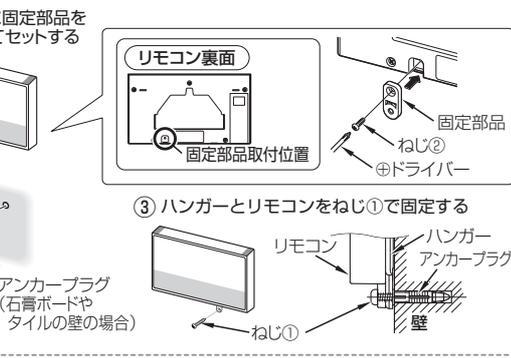
③ ハンガーの取り付け

埋込AC100Vリモコンの場合
埋込AC100Vリモコンと同梱の施工説明書に従い、取り付けを行ってください。



便器洗浄リモコン付の場合

の場
便器洗浄リモコンとウォシュレット本体との「組み合わせ設定」が必要です。便器洗浄リモコンと同梱の取付説明書に従い、設定してください。



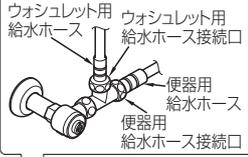
④ 便器洗浄リモコン付の場合
便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。
設定方法はウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書をご覧ください。

試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部またはウォシュレット本体操作部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

□給水ホースは正しく接続されていますか



□手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む

□以下に当てはまりませんか



ノズル部分が、便器に干渉している

タンクにあたっている

*1 約44cm(レギュラーサイズ)の便器に設置した場合、調整できないことがあります。

□同梱部品を使用していますか



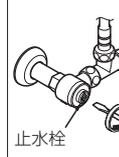
※従来のものと形状が異なるため、作動不良の原因になります。



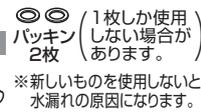
※従来のものとシール方法が異なるため、水漏れの原因になります。

2 機能の確認

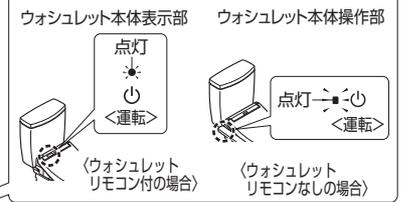
□止水栓を開ける



□水漏れチェック
→水漏れする場合は同梱部品を使用していますか



□運転ランプが点灯していますか



□ノズルから洗浄水が出ますか (温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。)

①水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

【作動の確認】
②便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる

④「おしり」ボタンを押す



⑤「止」ボタンを押す



※作動しない場合
組み合わせ設定参照



③紙コップ

□便器洗浄しますか

便器洗浄リモコン付の場合
ウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書に従い、試運転を行う

組み合わせ設定



試運転 2 機能の確認 でリモコンのボタンを押して作動しなかった場合のみ、「組み合わせ設定」を行ってください。

●設定は1台ずつ行ってください。

①一度電源プラグを抜き、再度差し込む

②便座の左側を手で10秒以内に10回押す
→<設定モード>に入る

③「止」ボタンを5回押す(「ビッ」という電子音が鳴る)
●ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。



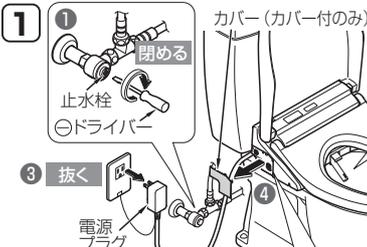
10回押す(10秒以内)
水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

④「止」ボタンを押す → <設定完了>

注意 設定モードに入ってから、約2分以内に設定を行ってください。手順③で電子音が鳴らない場合は、再度手順①からやり直してください。

⑤もう一度、試運転 2 機能の確認 を行ってください。

給水フィルターの掃除 (試運転後)

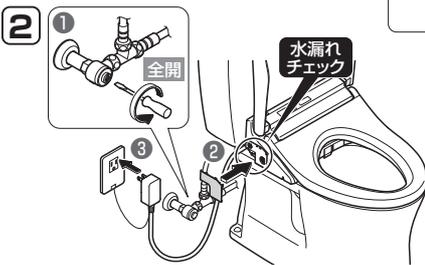


②ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。

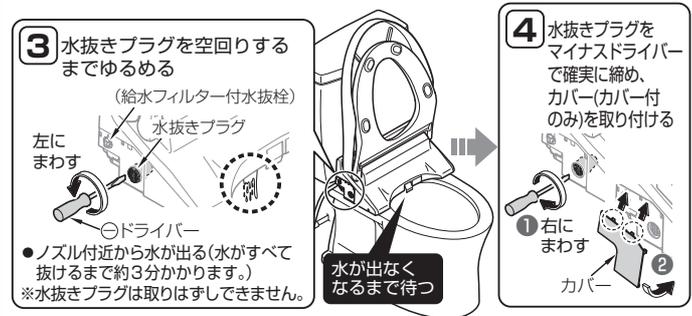
または
1. 「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを伸出させる
2. もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押してノズルを戻す

の場合

1. 「止」ボタンを5回押す(「ビッ」という電子音が鳴る)
●ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。
2. 「おしり」「音量-または位置▲」「ビデ」ボタンの順に押し、ノズルを伸出させる(2の操作は20秒以内に行ってください。)
3. 「止」ボタンを押してノズルを戻す



製品引き渡しまでの期間が長い場合



■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に製品を引き渡しまでの期間が長い場合は、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。

- 連立対応については、(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/> の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。 ※機種により掲載されていない場合があります。
- 使いかたラベルは、取扱説明書の袋に入っています。お客様に確認を行い、貼り付けてください。